

令和7年度 岡谷市教育委員会基本方針（学校教育）

■ 『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げる教育理念のもと、子どもたちの有用感に満たされた幸せの実現に向け、一人ひとりの人権、人格、個性を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を実践し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

子どもたちが未来を切り拓くために必要な思考力・判断力・表現力など、基礎となる資質と能力の育成を図り、自ら主体的に学び、人生をたくましく生き抜く力を養います。

■ 「学校教育 5つの重点」

1 未来を切り拓く確かな学力と成長の保障

- 基礎・基本の資質・能力を育む
- 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 教育DX推進と学校ICTの活用

2 「ふるさと学習」の推進と地域に開かれた学校づくり

- 「ふるさと学習」の推進
- 地域と共に歩む、開かれた学校づくり
- 人と学びをつなぐ教育環境の充実

3 自立と共生のインクルーシブ教育の充実

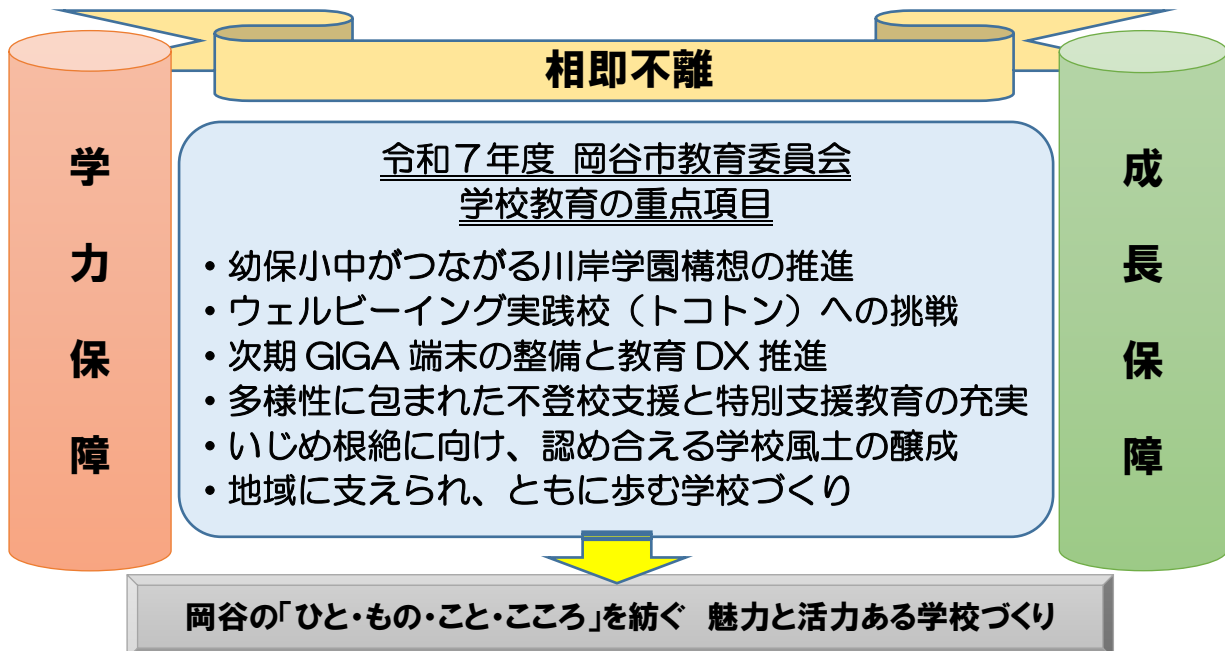
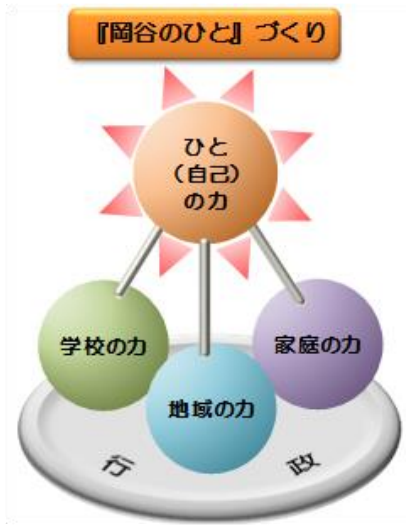
- 特別支援教育の充実
- 自立と共生、いのちを守る教育の推進
- 困難を抱える児童生徒、家庭への支援

4 多様性を包み込む、魅力と活力ある学校づくり

- いじめ・長期欠席への適切な対応
- 多様性を包み込む学校づくり
- 幼保小中、学校間の連携

5 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

- 安全・安心の学校教育
- 学校施設・設備の充実
- 幼保小中併設による新たな学び舎の創出



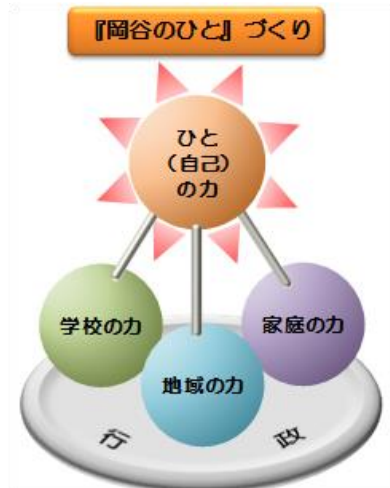
令和7年度 岡谷市教育委員会基本方針（生涯学習）

■ 『生涯学習スローガン』

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

おかや子育て憲章と第3期岡谷市教育大綱及び岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第7次岡谷市生涯学習推進計画）に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、ところ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の7つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「生涯学習 7つの重点」

1 生涯を通じた学びの推進

年齢、性別、国籍、障がいの有無、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残されることがなく生涯学習を継続させることができるように、市民の学習意欲の促進と市民ニーズや時代の変化に応じた講座を実施することに努めます。また、生涯学習の指導者の発掘、確保に努めるとともに、学習グループや各種団体の活動を支援します。

2 家庭・地域の教育力向上

子どもたちが人間性豊かに育つことができるよう、家庭、学校、地域と連携して、保護者を応援するための学習講座の開催や、親同士が交流できる機会を提供し、家庭と地域の教育力向上の支援に努めます。

3 青少年の健全育成

家庭、学校、地域と連携・協力し、ふるさとに愛着や誇りを持ち、心豊かに成長できる環境づくりや積極的に社会に参画する子どもたちを育成するため、多様な体験活動や団体活動の機会を提供します。

4 読書の推進

子どもから大人まで広く市民が読書に親しみの持てる環境を整えます。特に、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、市立岡谷図書館と学校等施設との連携や、ボランティア団体などとの協働により、子どもの発達段階に応じた読書の機会提供と普及・啓発に取り組みます。

5 美術考古館の活用

地元出身作家による芸術作品や市内遺跡から出土した土器、土偶などを中心とする考古資料の美術考古館での展示を通じて、美術と考古双方の魅力を SNS などでも活用し、広く市民に発信します。また、学校教育での活用や商店街との連携による賑わいの創出、市民の作品展示や幅広い年齢層が対象のイベント開催など、市民が気軽に立ち寄り、交流ができる学びの場を提供します。

6 文化財の保護・活用

文化財の調査・収集および保存・保護に努めるとともに、市内に残る近代化産業遺産群や日本遺産を活用し、地域の魅力の情報発信に努めます。

7 歴史の伝承

本市発展の歴史を市民共有の財産として後世に伝承し、将来のまちづくりに役立てるため、新たな岡谷市史の発刊に向けた市史編さん事業を推進します。

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン基本目標

様々な学びの形づくり 誰もが学び合える地域づくり 未来につなぐ学びづくり

令和7年度岡谷市教育委員会 生涯学習の重点項目

- ・移住者を対象とした「知る暮（シルク）らしおかや」講座の実施
- ・子どもたちの主体性や協調性を育むための活動機会の提供
- ・子どもたちがあらゆる場所で読書に親しむ機会を得られるための環境整備
- ・優れた芸術、文化作品に触れることのできる特別企画展等の開催
日達れんげ展、辰野登恵子展
- ・新たな市史の編さんに向けた取り組み
編さん委員会の運営、資料収集・整理・デジタル化、調査研究等の実施

令和7年度 岡谷市教育委員会基本方針（スポーツ）

■ 『スポーツスローガン』

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

岡谷市教育大綱の教育理念のもと、はつらつ岡谷スポーツプラン（第3次岡谷市スポーツ推進計画）に基づき、生涯にわたりスポーツに親しみ、すべての市民が「する」「みる」「ささえる」ことで多様な形でスポーツに関わり、スポーツを通して心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるように、次の5つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「スポーツ 5つの重点」

1 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動やスポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

2 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、指導者講習会などの開催を通じて、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の学習の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムにより、体力、運動能力の向上をめざすとともに、スポーツを始めるきっかけづくりとして、多様なスポーツ教室などを開催し、運動やスポーツへの苦手意識を軽減させ、喜びや楽しいと思える機会を提供します。さらに、中学校運動部活動の地域移行に向けた取組を推進します。

4 スポーツ環境の整備・充実

利用者が安全で快適にスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全で安心な環境を整備します。

5 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）の推進

令和10（2028）年に開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向け、機運醸成を図りながら、万全な開催準備を推進します。また、これを契機に、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、大会終了後も大会開催の成果を本市の財産として、未来へ継承します。

はつらつ岡谷スポーツプラン基本理念
スポーツで 笑顔あふれる 元気なまち

《日常に溶け込む「する」「みる」「ささえる」スポーツ》
令和7年度岡谷市教育委員会 スポーツの重点項目

- ・市民の笑顔と元気を広げるスポーツ機会の充実
- ・スポーツに親しむ習慣づくりと健康貯金の促進
- ・プロスポーツチームとの連携によるスポーツの魅力向上
- ・おかやキッズ運動大好き事業による子どもの体力、運動能力の向上
- ・長寿命化及び国民スポーツ大会等開催のための安全、安心な施設整備
- ・国民スポーツ大会等の開催に向けた体制整備と開催準備の推進